

平成24年度予算の概要

学校法人 神戸薬科大学

平成24年度予算は、平成23年12月21日に開催した評議員会及び理事会において承認された予算大綱に基づき編成した。

資金収入については、学生納付金収入は、学部の授業料を前年度と同額の年間1,800千円とし、入学予定者数を270人として積算した。補助金収入は、経常費補助、私立大学戦略的研究基盤形成支援事業関係、学術研究振興資金他を計上した。手数料収入については、予想される入学志願者数をもとに学部入学検定料他を見込み、前年度とほぼ同額を計上した。事業収入については、補助活動収入（寮費）と受託事業収入で前年度とほぼ同額を計上した。寄付金収入については、奨学寄付金を中心に前年度と同額を計上した。資産運用収入については、運用資産を75億円、利回り平均1.3%と想定し、前年度と同額を計上した。その他の収入については、体育館本体工事費として、減価償却引当資金、教育充実準備積立金、第2号基本金引当資金（教育環境整備資金）からの取崩し分他を計上した。

資金支出については、施設・設備関係は、体育館本体工事、3号館3階J335実習室改修工事、ホストコンピュータ更新、10号館2階第4実験室ドラフトチャンバー設置、アイソトープ実験施設ガンマ線測定器更新、私立大学戦略的研究基盤形成支援事業関係、委員会選定の研究用機器や実習用機器の購入他を計上した。教育研究経費については、経常の研究室配分研究費を中心に、5年次生が対象の病院薬局実務実習関係費、共用試験関係費、その他などで教育研究体制の充実を図るための計上を行った。管理経費については、経常費は減額に努めたが、創立80周年記念事業関係費を計上したことにより、前年度対比増額となった。資産運用支出については、減価償却引当資金、退職給与引当資金、第2号基本金引当資金、第3号基本金引当資金、第4号基本金引当資金をそれぞれ積立計上した。

以上の結果、次年度への繰越金は、前受学生納付金を上回るが、予算執行に際しては一層の支出削減に努めたい。

I. 資金収支

1. 資金収入

(1) 学生納付金収入

学部学生授業料は、新入生270人・2年次生333人・3年次生278人を1,800千円、4年次生278人・5年次生284人・6年次生286人を1,700千円とし、入学金は400千円とした結果、その他と合わせ前年度比48,100千円減の3,194,400千円を計上した。

(2) 手数料収入

学部入学検定料は入学志願者数をセンター入試を含めて1,800人の58,000千円と想定し、その他の手数料と合わせ72,600千円を計上した。

(3) 寄付金収入

奨学寄付金他で前年度と同額の25,000千円を計上した。

(4) 補助金収入

経常費国庫補助金は、特別補助を含め240,000千円を計上し、私立大学戦略的研究基盤形成支援事業関係86,000千円、学術研究振興資金5,000千円、その他の補助金を合わせ合計334,900千円を計上した。

(5) 資産運用収入

平成24年度期中予想75億円を、利回り平均1.3%で運用するとして、前年度と同額の101,300千円を計上した。

(6) 事業収入

補助活動収入は、前年度実績を勘案し、寮生の現員に合わせ、26,500千円を計上し、受託事業収入5,000千円と合わせ合計31,500千円を計上した。

(7) 雑収入

退職金財団交付金99,000千円他、合計125,000千円を計上した。

(8) その他の収入

体育館本体工事費として、教育環境整備引当資金900,000千円、減価償却引当資金400,000千円、教育充実準備積立金300,000千円繰入の他、退職給与引当資金37,000千円、記念事業準備資金30,000千円を繰入、前期末未収入金30,000千円と合わせ合計1,697,000千円を計上した。

2. 資金支出

(1) 人件費支出

人件費は、教員 90 人と職員 48 人及び非常勤教員とアルバイト職員等の給与に退職金を合わせ、1,749,300 千円を計上した。

(2) 教育研究経費・管理経費支出

・教育研究経費： 経常経費は引き続き節減に努めるが、病院薬局実務実習関係費 212,000 千円、共用試験関係費 23,600 千円に加え、私立大学戦略的研究基盤形成支援事業関係費 20,000 千円、在宅医療研修関係費 5,000 千円、入試システム開発費 4,800 千円の新規案件があるため、前年度比 22,230 千円増の合計 1,090,100 千円を計上した。

・管理経費： 創立 80 周年記念事業関係費 30,000 千円、エネルギー監視システム 5,000 千円他で前年度比 21,850 千円増の 279,700 千円を計上した。

(3) 借入金利息・借入金返済支出

借入金利息支出は、日本私立学校振興・共済事業団の借入金 183,440 千円の利息 6,800 千円を計上した。借入金返済支出は 47,300 千円を計上した。

(4) 施設・設備関係支出

・施設関係支出： 体育館本体工事 1,630,000 千円、3 号館 3 階 J 3 3 5 実習室改修工事 55,000 千円他で合計 1,695,000 千円を計上した。

・設備関係支出： ホストコンピュータ更新 49,000 千円をはじめ、教育研究環境の整備・充実関係で 10 号館 2 階第 4 実験室ドラフトチャンバー 2 台設置 11,500 千円、アイソトープ実験施設ガンマ線測定器更新 7,400 千円、ノート PC（貸出用）購入 2,500 千円、私立大学戦略的研究基盤形成支援事業関係 161,000 千円、研究用機器費 26,000 千円、実習用機器費 20,000 千円、図書費 9,000 千円、その他と合わせ合計 329,200 千円を計上した。

(5) 資産運用支出

減価償却引当資金 180,000 千円に加えて、第 2 号基本金引当資金（教育環境整備資金）200,000 千円、第 2 号基本金引当資金（大型機器充実資金）10,000 千円、第 2 号基本金引当資金（施設設備整備資金）50,000 千円、第 3 号基本金引当資金 10,000 千円、第 4 号基本金引当資金 44,000 千円を合わせ合計 494,000 千円を計上した。

(6) 予備費

各科目の予備として 20,000 千円を計上した。

(7) 次年度繰越支払資金

次年度繰越支払資金は 428,880 千円となり、前受金収入 390,500 千円は維持できる。

II. 消費収支

消費収支については、資金収支の内容を踏まえ、帰属収入から 1,035,200 千円を基本金へ組入れし、消費支出には減価償却費等を加算計上した。この結果、当年度の消費収支は 718,400 千円の支出超過となり、これにより翌年度への繰越支出超過額が 403,170 千円となるため、前年度以上に経費節減を進め、収支の改善に努力したい。